

**2019年度
教員免許状更新講習
教育の情報化 4限**

**帝塚山学院大学
稲川孝司**

本時のめあて

ICTを活用した
アクティブラーニング
について理解すること

社会で求められる能力の**変化**

近代社会
(メリトクラシー)



現代社会
(ハイパー・メリトクラシー)

基礎学力

生きる力

標準性

多様性・新奇性

知識量・知的操作の速度

意欲・創造力

共通尺度で比較可能

個別性・個性

順応性

能動性

協調性・同質性

ネットワーク形成力・交渉力

よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を共有し、
社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

何を学ぶか

新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた
教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共（仮称）」の新設など

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない*

*高校教育については、些末な事実的知識の暗記が大学入学者選抜で関われることが課題になっており、そうした点を克服するため、重要用語の整理等を含めた高大接続改革等を進める。

学校の学習形態

問題解決学習

個別学習

反転学習

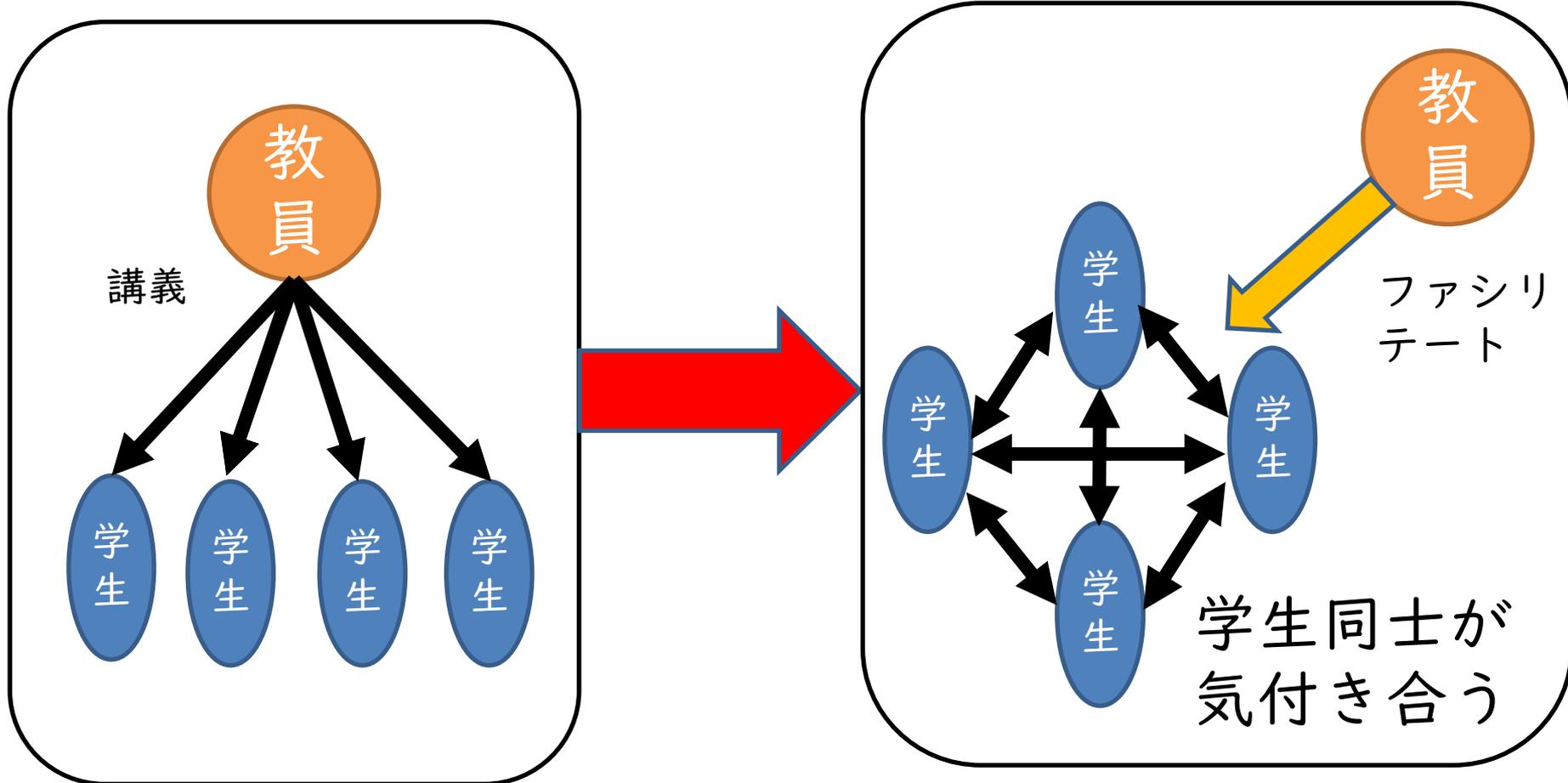
一斉授業

協働学習

アクティブ
ラーニング

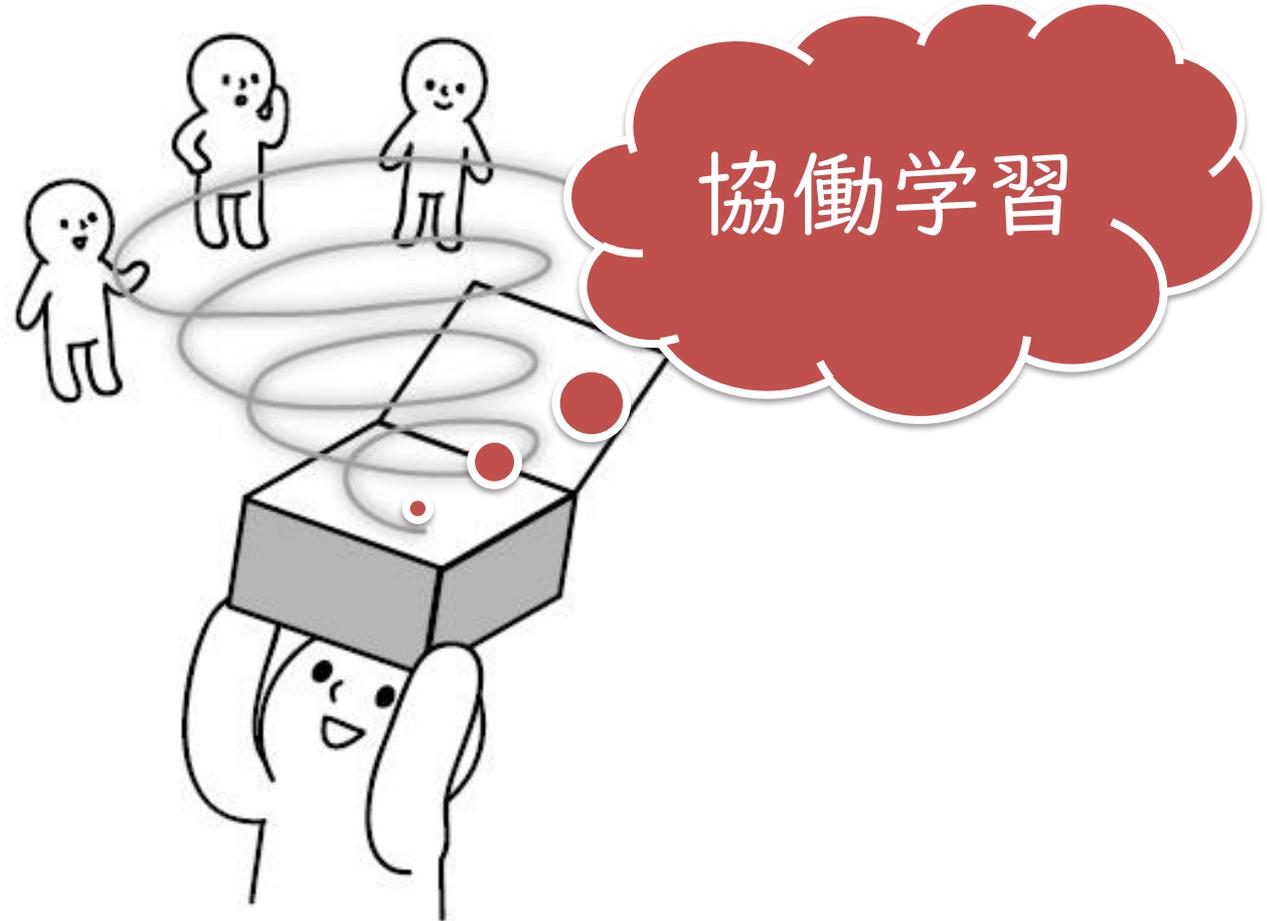
学校での学びの変化

主体的・対話的で深い学び



学びをひらく

自分のなかだけで閉じていた「学び」を開くと、
ひとりでは得られない発見や成長がある。

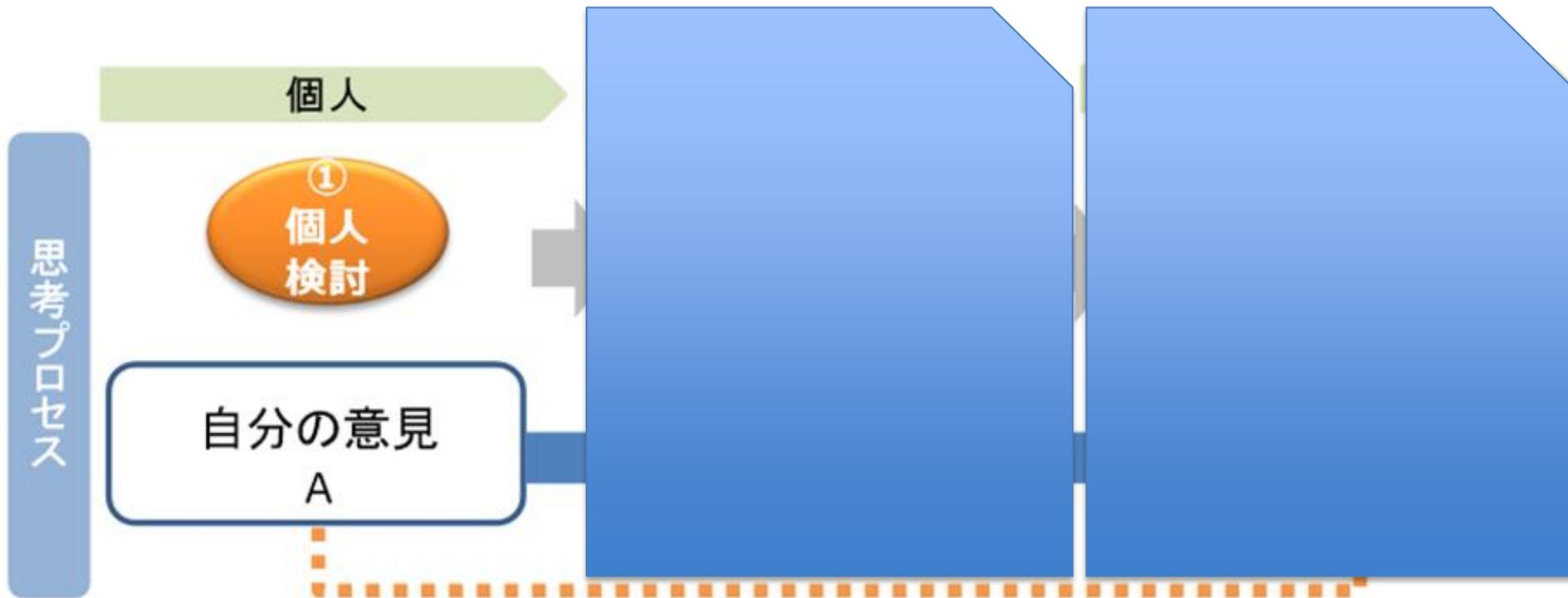


学びのプロセスを他の人に開いていくことで、
自らの学びを深め、他の人の学びも深める。

- 完璧になった学びの成果を披露するのではなく、途中段階で他の人と共有し、フィードバックを得る。
- 成果を仕上げる時にも、単なる伝達のための作業ではなく、本質を捉え直すことで学びとなる。
- 他人との関係の中で、より深い学びや活動ができるように考える。

アクティブ・ラーニング

主体的・対話的で 深い学び



本日の授業 I (SNSの問題点)

1. 個人で検討 (主体的)

2. グループで検討 (対話的)

3. グループでまとめる

4. グループで発表

5. 個人で再構築
(深い学び)

個人
検討

グループ
検討

個人で
再構築

個人学習レポートのdownload

デスクトップのIzumi_Public⇒稲川
⇒教員免許状更新講習⇒**2個人レ
ポート** をデスクトップにコピーし、開く

アクティブラーニング
個人レポート
「SNSの問題点」



学籍番号：○○○○
名前：○○○○

知られてもいい	知られたくない
<input type="checkbox"/> 誰に知られてもいい	<input type="checkbox"/> どちらかの上の項目を知られたくない
<input type="checkbox"/> 自分の名前	<input type="checkbox"/> 自分の住所 (○○市○○区)
<input type="checkbox"/> 学籍番号	<input type="checkbox"/> 親友上の学年
<input type="checkbox"/> 大学名	<input type="checkbox"/> 中学校名
<input type="checkbox"/> 高校名	<input type="checkbox"/> 所属学部・学科
<input type="checkbox"/> LINEID	<input type="checkbox"/> 生年月日
<input type="checkbox"/> LINEの友達一覧	<input type="checkbox"/> Twitterの友達一覧
<input type="checkbox"/> 自分で撮った顔の写真を	<input type="checkbox"/> 友達の名前

知られてもよい

知られたくない

誰に知られてもよい

どちらかかという
と知られたくない

高

低

知られてもよい度

知られたくない度

低

高

自分の名前

学籍番号

大学名

高校名

LINEのID

LINEの
友達一覧

皆で撮った
集合写真

自分の住所
(〇〇市まで)

親友との
写真

中学校名

所属学部
学科

生年月日

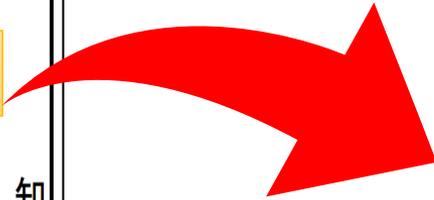
Twitterの
発言一覧

友達の名前

個人で考えて
並べてみよう

どちらかという
と知られても
よい

誰にも知られたくない



1. 個人で検討（主体的な学び）

一番知られても良い情報は：○○

一番知られたくない情報は：○○

その理由：○○

本日の授業 2 (SNSの問題点)

1. 個人で検討 (主体的)

個人
検討

2. グループで検討 (対話的)

グループ
検討

3. グループでまとめる

4. グループで発表

5. 個人で再構築
(深い学び)

個人で
再構築

2. グループで検討(対話的)

目標 「深い学びのために
互いの考えを伝え合おう」

深く学び合うために

1. 相手のほうを向いて話そう
2. 相手の話を誠実な態度で受けとめよう

自分の名前	自分の住所 (〇〇市まで)	切り取り
学籍番号	親友との写真	
大学名	中学校名	
高校名	所属学部学科	
LINEのID	生年月日	
LINEの友達一覧	Twitterの発言一覧	
皆が写っている集合写真	友達の名前	

どこまでが個人情報？

知られても良い

知られたくない

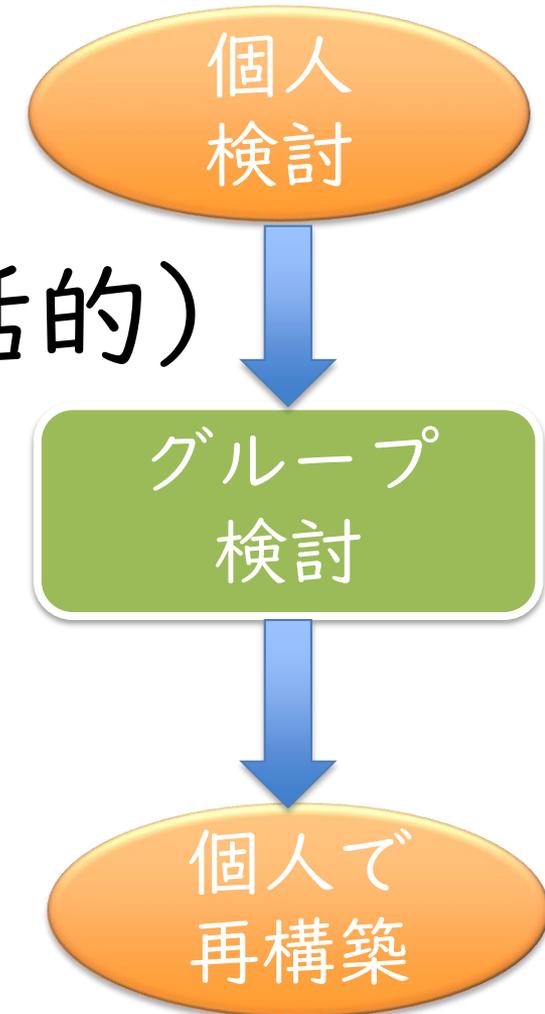
高
知られても良い度
低

相談しながら
並べてみよう

低
知られたくない度
高

本日の授業 3 (SNSの問題点)

1. 個人で検討 (主体的)
2. グループで検討 (対話的)
3. グループでまとめる
4. グループで発表
5. 個人で再構築
(深い学び)

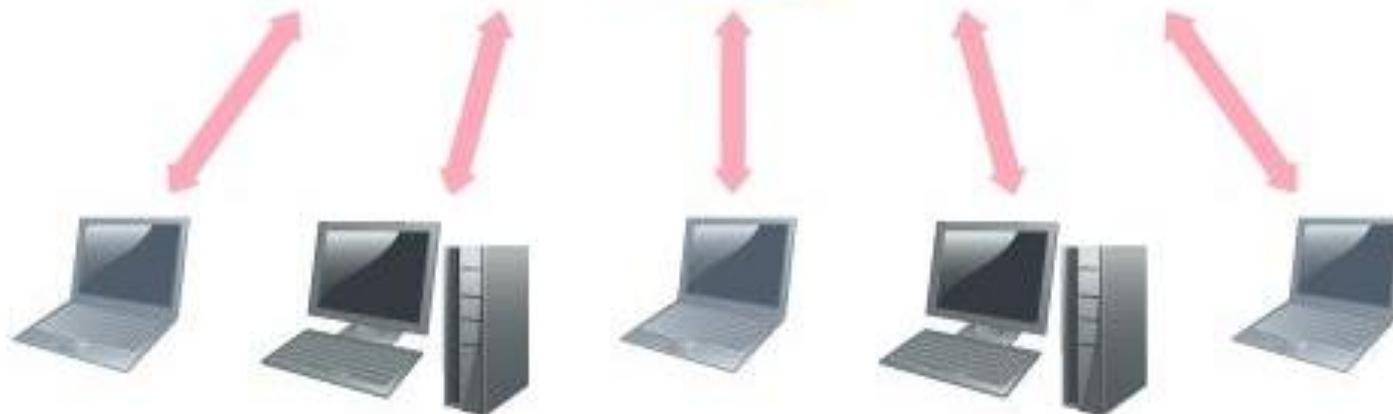


クラウドによるファイル共有

Office365の
OneDrive



同時に閲覧・編集

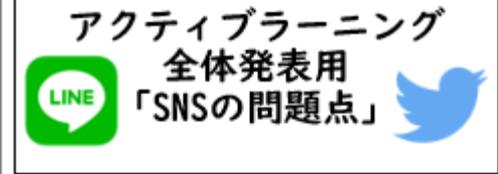


3. グループ検討（クラウド入力）

班ごとに「まとめ」を入力

教員免許状更新講習用

※右クリック⇒ハイパーリンクを開く↑



※自分の班の所にご記入ください。

	知られてもいい	知られたくない
01班	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
個人情報を 公開する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
所属の 写真	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
中学校名	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
所属する 学校	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
発表日時	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
Twitterの 名前一覧	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友達の名前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

01班 SNSまとめ（発表用）

個人情報を扱う際に、考えるべきことは…
〇〇

なぜなら(理由)…
〇〇

知られてもよい

知られたくない

誰に知られてもよい

どちらかかというとならなく
知られたくない

高

低

知られてもよい度

知られたくない度

低

高

自分の名前

学籍番号

大学名

高校名

LINEのID

LINEの
友達一覧

皆で撮った
集合写真

自分の住所
(〇〇市まで)

親友との
写真

中学校名

所属学部
学科

生年月日

Twitterの
発言一覧

友達の名前

班ごとで決めた
順番で並べよう

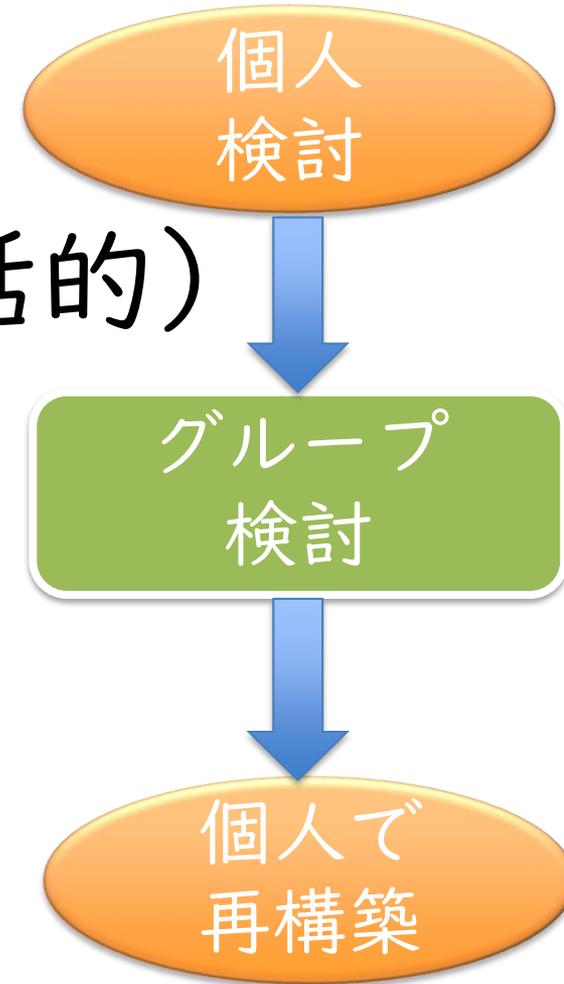
どちらかというとならなく
知られてもよい

誰にも知られたくない



本日の授業 4 (SNSの問題点)

1. 個人で検討 (主体的)
2. グループで検討 (対話的)
3. グループでまとめる
4. グループで発表
5. 個人で再構築
(深い学び)



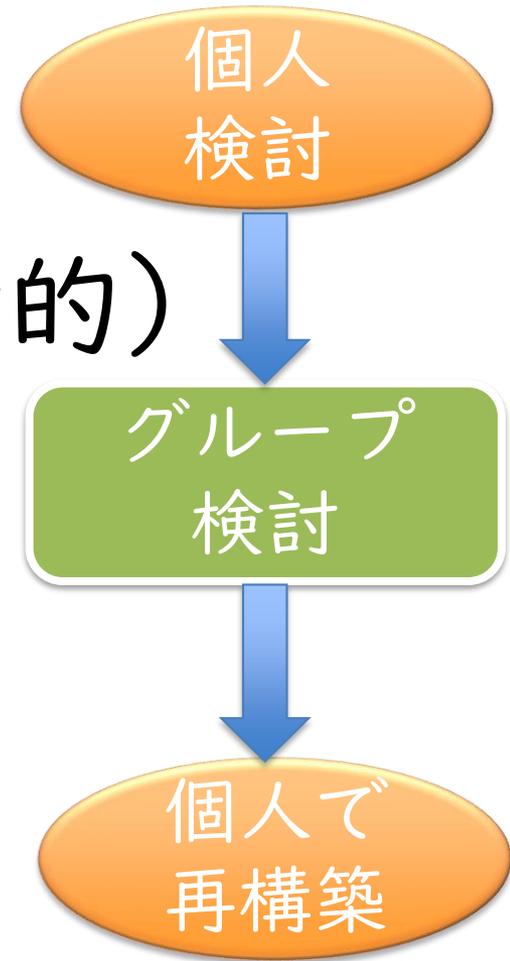
グループで発表

役割分担

1. 発表者(質問の応答を含む)
2. 質問者(1回以上質問する)

本日の授業 5 (SNSの問題点)

1. 個人で検討 (主体的)
2. グループで検討 (対話的)
3. グループでまとめる
4. グループで発表
5. 個人で再構築
(深い学び)



5個人で再構築（深い学び）

1. 自分と大きく異なる意見の中で、納得できた意見と理由は何か：○○○
2. グループ全体の意見を通して、SNSのトラブルを防ぐ良い方法とは：○○○

自分の意見を書いてみよう

アクティブ・ラーニング

主体的・対話的で 深い学び



個人の意見が深まったか？

個人レポートの提出

1. ファイル⇒名前を付けて保存⇒
保存先をデスクトップにして
ファイル名を各自の「番号＋名前」
に変えて保存する。

2. 保存したファイルをエクスプローラ
⇒IZUMI_Public⇒
稲川⇒教員免許状更新講習⇒フォルダ
内にコピーして提出

授業のPMI分析(クラウド入力)

ICTを活用したアクティブラーニング授業について、P(lus),M(inus),I(nterest)分析を行って、各自意見を書いて、みんなの意見を見て、授業を振り返ってみよう。

授業分析入力先リンク

※右クリック⇒ハイパーリンクを開く↑

自分の番号の
所に書いて
ください。

01: P	M	I
02: P	M	I
03: P	M	I
04: P	M	I